

各棟建築委員長様

NTT 光ファイバー工事説明会報告書

2021年7月23日
滝山棟管理協議会
会長 谷口 純

日頃より滝山棟管理協議会の運営にご協力いただきましてありがとうございます。7月10日（土）に行なわれましたNTT光ファイバー工事説明会の報告書を作成いたしましたので建築委員会などで審議される際にご活用下さい。

【1】NTT光配線（＝光ファイバー）方式導入工事について

現在、滝山団地にはNTTの光回線を利用してインターネットに接続するサービスがあります。光回線とは光ファイバーを使用してインターネットのデータ通信を行うものです。光ファイバーとはガラスや透明プラスチックを繊維状に細くした丸線のことです。線の端部に光を当てると、ほとんどの光はファイバーの外に漏れずに反対側の端部までとどきます。この性質を利用して片側から光をつけたり消したりすることでもう片側でON-OFFの光信号を受け取り、これを画像や音声に変換する仕組みです。モールス信号を受けて文書化するイメージです。

一般的な戸建て住宅で光回線を契約した場合、この光ファイバーケーブルがNTT基地局から住宅内まで引き込まれてデータを送受信することができますが、集合住宅の場合には各住宅までファイバーケーブルを引き込むことが出来ない場合があります。

それはファイバーの特性上、小さく曲げると折れてしまうからで、団地などの複雑な内部配管を通すことが出来ないためです。

では、今まで当団地ではどのようにして光回線サービスを受けていたかと言うと、基地局から棟の妻面（建物側面の壁）まで引かれたファイバーケーブルが妻面に取り付けられている『VDSL』という装置の中に入り、ここで光信号を電気信号に変換し、既設の電話回線を使用して各住戸まで通信を行う方法を採用していました。そして、契約した住宅ではプロバイダから支給された機器を電話線に取り付けることでインターネット回線だけを取り出してインターネットを利用していました。

しかし、築50年以上が経過した電話線（銅線）は経年劣化していることや、銅線

の性質上、他の電波などを拾ってしまい、たびたび通信エラーや回線速度低下を招いており、決して利用者が満足できる状態ではありませんでした。

また VDSL には電源が必要なため、供給している電源のブレーカが落ちてしまうとインターネットが使用できなくなります。最近も、VDSL 停電のためインターネットが使用できなくなり、管理組合が NTT に対して改善策を要望していました。

そこで NTT は『VDSL 方式』サービスを維持したまま、さらに光ファイバーケーブルを直接各住宅まで引き込む新サービスの導入を提案してきました。

これは以前と比べて光ファイバーケーブルが改良されて小さく曲げることが可能になり、団地内部の複雑な配管を通すことが出来るようになったことで導入が可能になったのです。

これにより、通信速度や安定性が向上し、以前より快適な光回線サービスを受けることが出来るようになります。さらに新サービスでは電源を必要としないので、停電の影響も受けなくなります。

この新サービス導入には、まず各棟が NTT に工事を申し込んだ後、共有部の工事を行い、その後希望する住宅だけが個別に NTT と契約を行います。導入に必要な工事のうち、各階段の 2 階までは NTT の負担となり、契約した住宅のみ、自宅までの延長工事を居住者が負担します。(インターネット・プロバイダとの契約によっては、プロバイダが工事費用を負担する場合があります。)

※なお、NTT による共用部配線工事は各階段 2 階の電気メーター横に設置されている MDF ボックスまでとなります。1 階と 3～5 階への延長工事は各住宅に引き込む際にプロバイダが行います。私が説明会の席において、各階への延長工事も今回の工事に含まれるとのご説明をしてしまいましたが、これは誤りであり、お詫びして訂正いたします。

また、棟がこの新サービスを導入したとしても、今までの VDSL 方式サービスは引き続き利用できますし、インターネットをご利用されていないお宅や JCOM サービスでインターネットをご利用の方々においても、今までと何ら変わることがありません。

この新しい光回線を導入する工事は各棟が個別に NTT 東日本へ申し込む必要がありますが、今回は棟管理協議会の方で工事を希望する棟をまとめて NTT へ連絡するようにいたしますので、導入を希望される委員長様は『NTT 光配線方式導入申し込み依頼書』に必要事項を記入の上、管理事務所に届けて下さい。

【2】説明会Q&A（主なご質問だけを掲載しています）

Q：滝山団地にはJCOMもありますが、今回のサービスと何が違うのでしょうか？

A：JCOM の場合には各棟の屋根にあるテレビアンテナ台からテレビの同軸ケーブルを利用してインターネット回線を各住宅に送っています。これに対して今までのNTT光回線は各棟の妻側に設置した機器（VDSL）から既設の電話線を利用してインターネット回線を各住宅に送っていました。そして新しいサービスは各住宅まで直接光ファイバーケーブルを通してインターネット回線を各住宅に送ります。

Q：今回の工事を行うと、現在契約しているインターネット回線が使えなくなるのですか？

A：工事後もJCOMのサービスや今までのNTT光回線VDSL方式サービスもそのまま残りますので、変更を希望されない方については今まで通りのインターネット回線をお使いいただけます。新しいサービスを希望される方だけが個別にプロバイダと契約します。

Q：今までのNTT回線と比べてどのくらい通信速度が速くなるのですか？

A：契約するプランにより変わりますが、今までのVDSL方式によるインターネット回線は最大でも100Mbps（メガ・ビー・ピー・エス）ですが、新たな回線では最大で1Gbps（ギガ・ビー・ピー・エス）となりこれは100Mbpsの10倍になります。

※bpsはbits per secondの略で、1秒あたりに送信できるデータ数の単位です。

Q：月々の使用料金は上がりますか？

A：今までのVDSL方式で100Mbpsの通信プランをご契約だった方は、ほぼ同じ使用料金の200Mbpsのプランをご契約できます。それ以上速いプランをご希望の場合には使用料金が上がります。

Q：今回の工事によるメリットとデメリットを教えてください。

A：一部の棟では建物の外側や階段室に配管が露出するため外観上のデメリットがありますが、それ以外の棟では外観上の変更が無く、デメリットが発生しないものと考えております。

メリットは今までより速くて安定したインターネット回線をご利用いただけることです。

また、VDSL 方式の場合は機器を動作させるために電源が必要ですが、光ファイバーの場合はそうした機器を使用しませんので、電源が落ちて回線が使えなくなることがありません。(ただし、ご自宅が停電して PC 機器が使えなくなると利用できません。)

Q：今回の工事で各階段の 2 階まで回線が引かれることは分かりましたが、新回線の契約希望者は何をすれば使用できるようになりますか？

A：各住宅が個別に So-net や OCN 等のプロバイダに連絡をして契約して下さい。契約後にプロバイダの方でご自宅までの光回線を引き込む工事を行います。

その後、プロバイダから支給される機器を設置することで新回線のサービスが受けられるようになります。

Q：棟が N T T に共用部分の工事を依頼してから完了するまでどのくらいの日数がかかりますか？

A：時期によっても変わりますが、今月申し込みをした場合には 2～3 か月後に完了します。その後、希望する方が個別にプロバイダと契約します。

A：今まで N T T の VDSL 方式でインターネット回線を利用していた人はどうすれば良いでしょうか？

Q：新しい回線を利用したい方がみかプロバイダに連絡をして、光回線方式に変更することをお伝えください。プロバイダの方から変更手続きの書類等が送られてくると思います。

Q：JCOM と比べてどちらが良いですか？また、今回の工事はメリットが大きいと思われるので、ぜひ棟管理協議会の方から工事導入を勧めて下さい。

A：申し訳ありません。棟管理協議会の立場上、どちらの会社・サービスが良いとは申し上げられません。

Q：棟総会を開催する必要があるでしょうか？

A：ほとんどの棟では外観上の変更がなく工事費用も N T T が負担しますので、棟総会までを開催する必要は無いと思われませんが、棟によって判断が分かりますので、まずは建築委員会で話し合ってみてください。

以上